



つなぐ・ささえる イツコムの防災への取り組み



私たちが暮らす街の災害、今後起こりうる災害を想定して、
もしもの時に役立つ情報を地域の皆さまにお届けします。

テレビ



＞テレビは地デジ10,11チャンネルでご覧いただけます。※1

iTSCOM ch

イツコムチャンネルでは、二子玉川・用賀・渋谷にライブカメラを設置し、リアルタイムで街の様子をお届けしています。悪天候時や災害時にも、街の様子を確認することができます。多摩川・鶴見川のライブ映像もお届けしています。

ライブカメラ映像
サービスページ



多摩川 二子玉川付近



首都高速3号渋谷線
用賀本線料金所

iTSCOM ch Live

「イツコムチャンネルライブCATV119ch」では24時間ライブで多摩川や鶴見川、渋谷・用賀付近の道路の状況をご確認いただけます。

※ご視聴いただくにはセットトップボックス(STB)の設置が必要です。

※1 ご視聴いただくにはイツコムテレビサービスへのご加入が必要です。

その他の取り組み



ITSKOM テレビ・プッシュ

自治体の配信する「防災情報」や、身近で便利な「生活情報」を音声とテレビ画面で自動的にお知らせするサービスです。



テレビ・プッシュ
サービスページ



■ 安心安全情報サイト

専門家による防災界隈のお話「防災インタビュー」などを掲載したWEBサイトです。行政機関や地域の防災情報へのリンク集も掲載しています。

安心安全
情報サイト



■ 地域との連携

地域防災訓練(CERT訓練)、地域BWA対応モバイルルーターの横浜市消防団への提供など、さまざまな取り組みによって地域の皆さまに安全・安心をお届けすることに努めております。今後の当社の取り組みはニュースリリースにて発信してまいります。

ニュースリリース
ページ



青葉消防署



ITSKOM

防災 ガイド

“それ”ほんとに安全？

地域の皆さまが安全・安心に暮らしていただくため、
生活に関連する「防災のテーマ」を取り上げてお届けします！



監修：横浜市青葉消防署

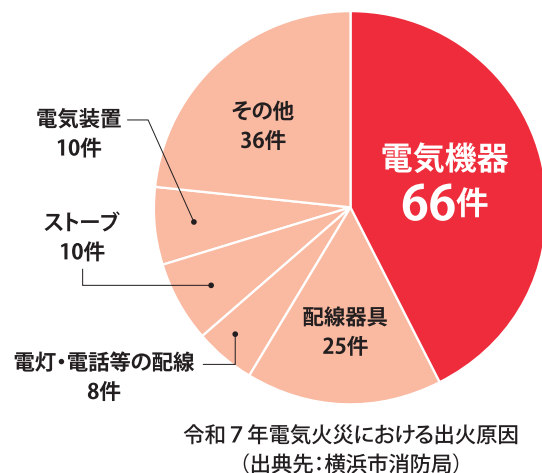


コムゾー

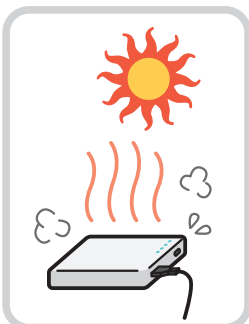
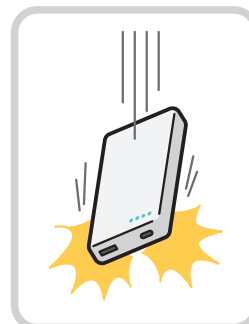
"電気火災"に注意! バッテリー火災、じわじわ増えてます!

電気火災^(※)の中でも、**リチウムイオンバッテリー**が原因の火災が急増中!
令和7年8月末時点で**36件発生**、
過去平均よりも**11件**多く発生。
身近な機器からの火災を防ぐためにも、
安全対策をしっかりと!

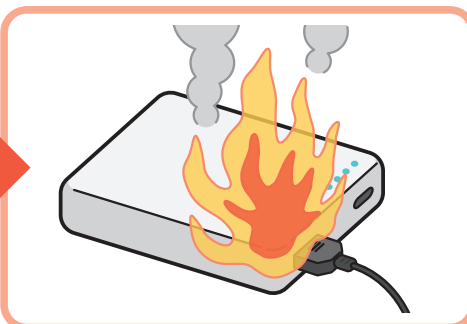
速報値のため件数は変更される場合があります。



使い方の悪い例



発火の危険も!



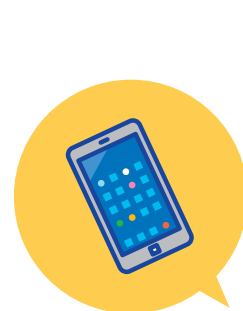
あなたの"それ"ほんとに安全? 「リチウムイオンバッテリー」チェックリスト

- ☐ 新規に購入する際は、PSEマークを確認する。
- ☐ リコール対象製品ではない。
- ☐ バッテリー本体に強い衝撃、圧力を加えない。
- ☐ 高温の環境で放置しない。
- ☐ 充電中は周囲に可燃物を置かない。
- ☐ 膨らんでいる、熱くなっている、変な臭いがする、などの異常がない。
- ☐ 充電コネクタの破損や水ぬれに注意する。

出典先:横浜市消防局

※電気火災とは、電気をエネルギーとする機器や用品、設備などが発火源となった火災です。

【ご連絡先】横浜市青葉消防署 総務・予防課 045-974-0119



実はこれも!? 身近なリチウムイオンバッテリー



小型充電式電池の捨て方

小型充電式電池
リサイクルボックス



一例として、小型充電式電池を
回収する専用ボックスもあります。

横浜市 小型充電式電池 出し方



お問合せ先:横浜市資源循環局 各区収集事務所

出典先:一般社団法人JBRC

知ってる?地震後に起こる通電火災

「電気が戻った瞬間、火災が始まる」
停電後、電気が復旧したときに電気製品が動き出し、火災につながる可能性があります。
これが「通電火災」です。
感震ブレーカーの設置が効果的で、自動で電気を止めて、命と住まいを守ります。

感震ブレーカーに関心を!!